

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

2023年度

11月園だより



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)
(080) 4625-9065

●●●●●●●●●● 今月のみことば

「地はお造りになったものに満ちている。」

詩編104編24節

今月のねらい みつける

- しいの実** 秋の実りや季節の移り変わりを見つけて喜ぶ。
- たんぽぽ** 木の実や葉を拾ったり集めたりし、遊びに取り入れる。
- みず** 季節の移り変わりを感じて喜び、秋の実りに感謝する。

ありがとう

- かぜ** 秋の自然に触れ、実りに感謝する。
- そら** 秋の実り、恵みに感謝する。
- たいよう** 秋の実り、自然や恵みに感謝する。

11月の行事

- 2日(木) 中京子ども大会(たいよう組対象)
- 6日(月)～17日(金)
平安女学院大学実習生2名受け入れ
- 13日(月)～14日(火)
明治国際医療大学実習生5名受け入れ
- 14日(火) 幼児健診
- 15日(水) 向上社保育園と交流(たいよう組対象)
- 16日(木) 保護者会主催 お楽しみ会 AM9:45～
- 21日(火) 収穫感謝祭
- 24日(金) お誕生会
- 27日(月)～28日(火) 明治国際医療大学実習生
4名受け入れ
- 29日(水) 陶芸教室(たいよう組対象)
避難訓練…未定

色とりどりの落ち葉やさまざまな形のドングリなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山。幼児クラスはお弁当を持って園外に出かけたり乳児クラスも、お散歩を楽しんでいます。秋の自然に触れ、神様がくださった恵に感謝したいと思います。

お誕生日おめでとう



園外保育(お弁当がいります)

7日(火) **しいの実組**…園外保育には行きませんが、普段お家で食べているものを持って来ていただきます。今後の給食の進め方を考える機会にしたいと思います。

収穫感謝祭について

21日(火)にお家から野菜を持ってきてください。どんな野菜でも構いません。みんなで持ち寄った野菜を飾り、収穫をくださった神様に感謝の祈りを献げます。

諸費請求お知らせ

24日(金)
エンペイ支払い期日
24日(金)～28日(火)

運動会の日には
たくさんの用具運びの
お手伝いをありがとう
ございました。

子どもたちのための簡単なクイズがあります。これから言うものを「人がつくれるか」クイズです。「テレビ」つくれます。工場でつくれます。「虫」つくれません。「ロボット」つくれます。「海」え～、つくれません。「海の中のお魚」つくれません！「新幹線」つくれます。長い線路もつくれます。「お花」本物のお花はつくれません。「リンゴ」つくれません。農家の人がしているのはおいしく育つお手伝いをするだけです。「飛行機」つくれます。宇宙にいくロケットもつくれます。でも「宇宙は」・・・つくれません。

最後の質問です。人がつくっていないのに、それがどうしてこの世界にあるのでしょうか？

答えは「この世界は神さまがつくられた」からです。人は高度なコンピューターや様々なものをつくることができますが、「いのち」そのものをつくることはできません。

私たち人間も神さまにつくられた大切な存在です。神さまは、この世界の始めから私たちが生きていくために必要なもので満たして下さっています。そう思うと少し心も軽くなり余裕が生まれるのではないのでしょうか。

争うことよりも許しを、不満よりも感謝を、無関心よりも愛を、私たちの関係の中に実らせていきたいと願います。

園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

苦情解決責任者	沼津 孝治
苦情受付担当者	松尾 恵美
第三者委員	花岡 尚樹 畑 健次郎 酒井 咲子

法人の理念

キリストの愛の精神に立って、福祉サービスを必要とするすべての人に仕え、日常を支援し、常に人びとの人権を護りその人格の尊厳を尊重します。

2023年度

11月園だより



円町まぶね隣保園
京都市中京区西ノ京北円町50
TEL (075) 462-8829
携帯 (080) 4625-9085(緊急用)
(080) 4625-9065

●●●●●●●●●● 今月のみことば

「地はお造りになったものに満ちている。」

詩編104編24節

今月のねらい みつける

- しいの実** 秋の実りや季節の移り変わりを見つけて喜ぶ。
- たんぽぽ** 木の実や葉を拾ったり集めたりし、遊びに取り入れる。
- みず** 季節の移り変わりを感じて喜び、秋の実りに感謝する。

ありがとう

- かぜ** 秋の自然に触れ、実りに感謝する。
- そら** 秋の実り、恵みに感謝する。
- たいよう** 秋の実り、自然や恵みに感謝する。

11月の行事

- 2日(木) 中京子ども大会(たいよう組対象)
- 6日(月)～17日(金)
平安女学院大学実習生2名受け入れ
- 13日(月)～14日(火)
明治国際医療大学実習生5名受け入れ
- 14日(火) 幼児健診
- 15日(水) 向上社保育園と交流(たいよう組対象)
- 16日(木) 保護者会主催 お楽しみ会 AM9:45～
- 21日(火) 収穫感謝祭
- 24日(金) お誕生会
- 27日(月)～28日(火) 明治国際医療大学実習生
4名受け入れ
- 29日(水) 陶芸教室(たいよう組対象)
避難訓練…未定

色とりどりの落ち葉やさまざまな形のドングリなど、秋の自然は子どもたちにとって宝の山。幼児クラスはお弁当を持って園外に出かけたり乳児クラスも、お散歩を楽しんでいます。秋の自然に触れ、神様がくださった恵に感謝したいと思います。

お誕生日おめでとう



園外保育(お弁当がいります)

7日(火) **しいの実組**…園外保育には行きませんが、普段お家で食べているものを持って来ていただきます。今後の給食の進め方を考える機会にしたいと思います。

収穫感謝祭について

21日(火)にお家から野菜を持ってきてください。どんな野菜でも構いません。みんなで持ち寄った野菜を飾り、収穫をくださった神様に感謝の祈りを献げます。

諸費請求お知らせ

24日(金)
エンペイ支払い期日
24日(金)～28日(火)

運動会の日には
たくさんの用具運びの
お手伝いをありがとう
ございました。

子どもたちのための簡単なクイズがあります。これから言うものを「人がつくれるか」クイズです。「テレビ」つくれます。工場でつくれます。「虫」つくれません。「ロボット」つくれます。「海」え～、つくれません。「海の中のお魚」つくれません！「新幹線」つくれます。長い線路もつくれます。「お花」本物のお花はつくれません。「リンゴ」つくれません。農家の人がしているのはおいしく育つお手伝いをするだけです。「飛行機」つくれます。宇宙にいくロケットもつくれます。でも「宇宙は」・・・つくれません。

最後の質問です。人がつくっていないのに、それがどうしてこの世界にあるのでしょうか？

答えは「この世界は神さまがつくられた」からです。人は高度なコンピューターや様々なものをつくることができますが、「いのち」そのものをつくることはできません。

私たち人間も神さまにつくられた大切な存在です。神さまは、この世界の始めから私たちが生きていくために必要なもので満たして下さっています。そう思うと少し心も軽くなり余裕が生まれるのではないのでしょうか。

争うことよりも許しを、不満よりも感謝を、無関心よりも愛を、私たちの関係の中に実らせていきたいと願います。

園長 沼津 孝治

苦情解決委員会

苦情解決責任者	沼津 孝治
苦情受付担当者	松尾 恵美
第三者委員	花岡 尚樹 畑 健次郎 酒井 咲子